

## 笑顔でつなぐ、未来へつなぐ 職場リレーの女子駅伝 株式会社アグメント

職場リレーの第七走者は、株式会社 アグメント（代表取締役 今津悠見氏 愛知県知多郡阿久比町大字草木字末広22）の今津氏です。昭和60年創業、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集・運搬・処理を行っています。平成22年食品廃棄物リサイクルシステムとして「アグエコ（AGUECO）プロジェクト」を立ち上げ、食品残さで堆肥をつくり自社管理の農場で野菜やハーブ、穀物（主にそば）を栽培しています。いち早く資源循環のビジネスモデルを構築、今回は地域のひとと資源をつなげる「つながる、チカラ。」について今津氏にお話を伺いました。

### ★自己紹介をお願いします。

今津：学卒で入社し最初は経理業務を担当しました。就業中に各種実務の資格を取得、現在は父である会長から社長を引き継ぎ3年経ちました。



代表取締役 今津悠見氏

た職場環境にありましたので、私自身も環境に関わる業務に専念することができたと感じます。休憩所にはハーブが多数寄せ植えされているので、特にこれからの季節は社員の皆さんの憩いの場所となります。

### ★社員の方の働き方についてお聞かせください。

今津：当業界も昨今は社会的背景もあり女性の働き方への意識が高まり、女性社員の定着率を上げるうえでも勤務体制における配慮は欠かせません。育児期間の残業時間を減らす取り組み、子育ての悩み等を気軽に相談できる社内の雰囲気作り、個人面談による話し合いなどを実践しています。今後は多種多様な働き方、ダイバーシティー経営にも対応していきたいと考えています。

また、弊社社屋は閑静な住宅街にあり、築後30年経過しておりますが、緑あふれた空間は今なお働く者に安らぎを与えてくれます。このような恵まれ

働き方については、社員の個々の環境を配慮した

取り組みを重視し、さらに働く環境づくりの整備、の両面から支えていきたいと思っています。

### ★雇用対策・人材育成についてお聞かせください。

今津：弊社では新卒社員の採用を積極的に行っていますが、近年は全体的に求人数の減少がみられます。

会社説明会では、企業の取り組みを魅力的に伝え、当業界の社会的意義について理解が得られるよう誠意を持って対応しています。

入社後の人材育成は、教育担当、上司等により研修が行われますが、業務上の実務の習得は、協会主催の各種研修会を積極的に受講しています。企業理念である「人と環境を大切に、美しく共に生きる」を社員一人ひとりが実践することにより意識の向上を図り、かつ循環型社会の構築を担う一員であることに誇りを持ち、社会貢献を通じて業界の社会的地位の向上を目指しています。

### ★御社の環境リサイクルビジネスについてお聞かせください。





今津：2010年にスタートした食品リサイクルシステム「アグエコ (AGUECO) プロジェクト」は、Agriculture: 農業 Ecology: 環境 Economy: 経済、の三つの要素を兼ね合わせ、食品残さで堆肥を製造しています。再資源化された堆肥は農場にて農作物(野菜・穀物・ハーブ)が栽培され、中でもそばは「知多美人そば」としてブランド商品化し、地域の特産として販売しています。このように「食」、「農業」、「里山」といった地域の資源をつなげ、効率的・持続的・安定的に維持・循環させながら利用する取り組みを行っています。その他にも間伐された竹を地域資源としてとらえ、有効活用することにより里山保全に取り組んでいます。このように地域資源を守りながら生かす取り組みは、地方創生の原動力となり企業理念につながります。

今後は持続可能な循環型リサイクルを継続的に実現するためには、排出事業者との連携(理解と協力)が必要となり、食品リサイクルから環境に対するポリシーを一致させることによりはじめて実現可能となります。女性ならではの目線で、仕事や地域とつながる事で新しい力を生み出していきます。

★最後に次の企業さんへのメッセージをお願いします。

昨年度から青年部に入会し、先輩経営者から実務的なアドバイスや学びを得ています。研修会だけではなく、ゴルフコンペにもできる限り参加し、多くの方々との交流を大切にしています。

私自身も社長就任後、「つながる、チカラ。」と題しゴルフコンペを企画して毎年開催をしています。コンペは業界の方々や地元の方々の交流の場として多数の方が集い、景品も地域の物産品を配るなど趣向を凝らしています。女性ならではの発想を、会社の経営のみならず社外においても発揮しています。

業界内でも女性の経営者が増え、これから活躍の場が益々広がることはとても楽しみです。

二代目社長としての意気込みが感じられるインタビューでした。取材時自家製のハーブティが出され、優しい香りに癒されました。今津氏の心配りに感謝の念と、オーガニックライフだからこそその環境への取り組みに期待が高まります。

